

第 26 回福岡県子育て保育のつどい～保育とはしあわせな日々を作ること～
ご参加ありがとうございました。大人 378 人こども 24 人（保育担当 5 人）100
枚（回収率 27%）のアンケートを集計しました。ほんの一部をご紹介します。

文化行事

- ・平和の大切さを考えさせられる歌詞でとても胸に響いた
- ・とても貴重な行事だと思う

平松知子先生の講演

- ・保育でこの国を変えたいというコトバに勇気をもらった
- ・肩の力がほっと抜けた。仕事に疲れ果てていたが、保育士という仕事の素晴らしさに再度気づいた。
- ・家に帰って、こどもたちを抱きしめようと思った。
- ・昨年卒園。これからも続く子育てを楽しみながら味わっていきたい。
- ・とても素敵な方。保育士になったら、先生がいうような環境でこどもたちとその親と一緒にしあわせになれる仕事がしたいと思った。

分科会①「あそぼう！」

- ・初めてあった人とも歌って踊っていい経験になった。
- ・二歳の子どもも釘付けだった

分科会②「わらべうた」

- ・沢山教えてもらった。また開催を。
- ・どれも子どもたちが喜びそうなものばかりで明日からの保育で是非。

分科会③「ていねいな保育」

- ・具体的な制度やその問題を学び、新たな視点を獲得できた。深い話が聞けた
- ・改めて運動や署名の大切さを感じた

分科会④「ベビーマッサージ」

- ・皮膚の保護機能を高めたり、愛着形成を促進したりと色々な効果がわかった。構えずにスキンシップの一つとして今後の保育にも取り入れたい。色々話が聞けて良かった。

分科会⑤「学童期を豊かに」

- ・4月から子どもが小学生。わからないことだらけだが、少し展望ができた。
- ・子どもたちと同じ目線ですてきな関係性だと思った。保幼小の連携の話もしてほしかった。

分科会⑥「給食と調理」

- ・普段の離乳食作りを見直すきっかけになった
- ・魚を使用した離乳食で初めて調理したので楽しかった。
- ・なかなか自分たちではやらない離乳移行時期の食材や形態の見直しは勉強になった。交流もでき、日々疑問に思っていることも聞けて良かった。

分科会⑦「保育の仕事」

- ・ベテランの方でも悩みながら保育されてるんだと勇気をもらった。
- ・もっともっとしゃべりたかった。色々な立場の方がいてよかった。
- ・おしゃべりの場、意見交換の場が必要

運営に関して

- ・分科会の情報（講師、内容）が少なかった。
- ・保育：部屋の前でぐずった。おもちゃを並べて気を引く等準備して欲しい。
- ・案内に近くのコンビニや食事場所など記入してほしい
- ・場所への誘導表示がわかりにくかった
- ・受付の掲示を壁にしてみやすく
- ・昼食が会場でとれるのかなどの情報が欲しい

紙面の都合上、一部改変しています。アンケートの詳細は福岡県保育センターのホームページ、つどいのページをご覧ください。

福岡県子育て保育のつどい 実行委員会

福岡県保育センター

〒810-0004 福岡市中央区渡辺通 5-1-26 アロー103 号館 307 号室

Tel:092-761-5234 Fax:092-781-1995